

募集案内所で自衛官等職業紹介



所長の職業紹介に聞き入る参加者

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原一陸尉）は、3月4日（水）横浜中央募集案内所（横浜市中区）で希望者に対する職業紹介を実施した。これは同日に予定されていた公安系4職種（自衛隊、警察、消防、海保）制度説明会が中止になったことを受け、自衛隊の制度を知りたいという対象者2名に個別に実施したものである。はじめに、自衛隊の特徴について他公安系の仕事と比較しながら説明をした。参加者は、自衛隊の任務や陸海空自衛隊の役割活動などの説明においては、真剣な眼差しで聞き入っている姿が印象的であり、特に自衛隊の中にも警察や消防機能の仕事が存在することに興味を示していた。次に自衛隊の国際平和協力活動について参加者に尋ね、最初は知らない様子だったが現在派遣中の護衛艦「たかなみ」の情報収集活動などを紹介すると、テレビ等を見て知っている様子だった。最後に受験科目とそれぞれの魅力や特徴を説明するとともに、自衛隊は世間で最も信頼できる組織として評価が高いことなどに感心していた。説明会終了後には「よくわかりました」「受験したいと思います」と力強く話してくれた。

横浜中央募集案内所は、「現状を踏まえ、このような個別説明等を取り入れながら、職業としての自衛隊をPRし、募集成果につないでいきたい」としている。

防衛医科大学入校者が近況報告に来訪

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、3月23日（月）に、平成30年度防衛医科大学に入校した武たけ玄悟けんご学生の訪問を受けた。

同学生は受験から入校までの間、丁寧な対応をしてくれた担当広報官（蛭名2曹・現厚木募集案内所）に対する感謝を述べるとともに「恵まれた学習環境で、教育に専念することができ、充実した毎日を過ごしています」「教官の方々に丁寧な教えを頂き、同期と切磋琢磨し医務官、幹部自衛官としてあるべき姿を目指し、基礎をひとつずつ身につけています」などと笑顔で話してくれた。

また「防衛医科大学校、自衛隊の魅力及び入隊予定者等への激励等、自衛官募集についても自分ができる事があれば、ぜひ協力させて下さい」と力強く話してくれた。

小田原地域事務所は、「今後も、入校・入隊者とのつながりを大事にするともに、地域と連携して募集活動にまい進していく」としている。

